

# ハッチョウトンボ

*Nannophya pygmaea* Rambur  
トンボ目・トンボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

前回の調査時と比較して、消滅した生息地もあるものの、奥越等新たに進出した地域もあり、確認地点数に大きな変化はない。本種が生息地として好む環境は不安定で消失しやすいことから、今後も生息状況を注視する必要がある。

## 種の特徴

体長 17～21 mm。日本産不均翅亜目のトンボの中で最少。丘陵地の丈の短い植物の繁茂する湿地に生息し、しばしば放棄水田や土砂採取跡地の湿地でもみられる。幼虫期間は3か月～1年程度で、幼虫越冬。成虫は主に5月中旬～8月上旬に出現する。

## 分布

本州～九州に分布。県内では福井市、永平寺町、敦賀市、美浜町、若狭町等で近年の記録がある。前回の調査で生息地が消滅したとされた大野市南六呂師でも生息が確認された。

## 生息を脅かす要因

本種が多産するのは湧水のある背丈の短い植物が繁茂する湿地という不安定な環境であるため、長年継続して生息する地点は限られている。このような良好な湿地が埋め立てによって消失することは、生息状況を悪化させる。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、尾園ら (2012)、杉村ら (1999)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○	○		○	○			○		○	○		○	○	○

# ミヤマアカネ

*Sympetrum pedemontanum elatum* (Selys)  
トンボ目・トンボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

安定した生息地が限られている。

## 種の特徴

体長 30～41 mmのアカトンボ。翅の先端寄りに褐色の帯条斑を持つ。平地～山地にかけての緩やかな流れや水田等に生息する。成虫は6～11月に出現する。

## 分布

国内では北海道、本州、四国、九州等に分布する。本県では各地に記録が点在するが、安定した生息地は少ない。

## 生息を脅かす要因

河川改修等が脅威となる。

参考文献 尾園ら (2013)、和田・和田 (2006)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○				○		○	○	○	○	○			○	○	○

# ミネトワダカワゲラ

*Scopura montana* Maruyama  
カワゲラ目・トワダカワゲラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

確認地点が大幅に増加し、広く県内に生息する可能性があるが、洪水等によって生息環境が悪化する恐れもあり、今後も注視が必要。

## 種の特徴

体長 30 mm内外。成虫は無翅。幼虫は腹部第9・10節の間に、環状に並んだ糸状の鰓を持つ。河川上流域の小支流や谷沢等水量の比較的少ない小さな川に生息し、幼虫は落ち葉の間や砂利の隙間等で生活する。約4年に1化。成虫は9月下旬～11月に出現。

## 分布

東南北部～近畿地方の山岳地域に分布。県内では竹田川、九頭竜川、大納川、滝波川、部子川、黒河川源流部付近で記録あり。今回大野市、永平寺町、あわら市でも確認された。

## 生息を脅かす要因

氷河期の遺存種で冷水域に生息しているが、今後は地球温暖化の影響で分布限界域が北上し、本県での生息も脅かされる可能性がある。河川改修や大雨による土砂崩れ等による川床環境の変化も脅威となりうる。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、前田 (2001)、志村 (2005)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○	○	○		○	○	○	○		○		○	○	